

令和2年度北見工業大学後援会
「KIT げんき会」総会資料

目 次

1. 議事次第	1
2. 令和2年度役員名簿(案)	2
3. 令和元年度事業実施報告書	3
・ 学生に対する支援	
(1) 語学研修プログラム参加旅費の助成	
台 湾	5
(2) 短期交流研修(派遣)の助成	9
(3) 留学生派遣の助成	19
(4) インターナショナルCアワー開催の助成	21
(5) 留学生交流イベントの助成	22
(6) 就職支援助成(地元企業合同セミナー)	24
(7) 学生表彰	26
(8) 参考図書購入の助成	27
・ 大学広報等への支援	
(1) 女満別空港広告看板掲出料の助成	29
・ 北見ぼんちまつり参加者への助成	30
4. 令和元年度決算書	31
5. 監査報告書	32
6. 令和2年度事業計画書(案)	33
7. 令和2年度予算書(案)	34
8. 規約	35
9. 法人会員名簿	37

令和2年度北見工業大学後援会「KITげんき会」総会

議 題

- 1 役員の一部改選について
- 2 令和元年度事業報告及び決算について
- 3 令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和2年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）
" 鈴木 聡一郎（北見工業大学学長）
- 会長 舛 川 誠（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 福 地 博 行（北見鉄工協同組合理事長）
" 坂 口 政 義（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
" 大 坪 広 則（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）
" 吉 田 茂 夫（北見医師会会長）
" 越 膳 良 臣（北見工業大学同窓会顧問）
- 常務理事 柴 野 純 一（北見工業大学理事・副学長）
- 理 事 高 木 常 臣（北見歯科医師団団長）
" 菅 原 吉 隆（北見ぼらんち会会長）
" 田 村 友 朗（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）
" 金 田 充 郎（北見信用金庫理事長）
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）
" 小 松 正 道（協同組合北見総合卸センター理事長）
" 篠 尾 和 孝（北見舗装協会会長）
" 新 井 俊（北見薬剤師会会長）
" 辻 好 治（北見市観光協会代表理事）
" 富 山 佳 男（北見測量設計協会会長）
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）
" 久 島 和 俊（北見建設業協会会長）
" 石 輪 信 幸（北見金融協会会長）
" 増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
- 監 事 小 澤 實之郎（日本赤十字社北見市有功会会長）
" 富 田 剛 夫（北見工業大学同窓会長・同窓会北見支部支部長）
- （順不同：敬称略）

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和元年度事業実施報告書

事 業	摘 要
1 会 議	
1) 総 会	令和元年7月10日(水)開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	<p>語学研修プログラム参加旅費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾×4人 …中国(研修先:北京化工大学)での研修を予定していたが参加者が集まらなかったため、台湾(研修先:勤益科技大学)へ研修先を変更。 <p>(※新型コロナウイルスの影響により、ドイツ研修(研修先:アシャッフエンブルク応用科学大学)及び台湾研修(研修先:中国医薬大学)は中止。)</p> <p>短期交流研修(派遣)の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国×10人 <p>留学生派遣の助成 (地域の各種団体等への留学生の派遣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計4回派遣 <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計7回開催 <p>留学生交流イベントの助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月11日(水)開催 <p>就職支援助成(地元企業合同セミナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オホーツク地元企業と就職担当教員との意見交換会 …令和2年1月16日(木)開催 ・オホーツク合同企業セミナー …令和2年2月19日(水)開催 <p>学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞者5名 <p>図書館配架用学生向け参考図書購入の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計12冊購入

<p>2) 大学広報等への支援</p> <p>3) 北見ぼんちまつり参加への支援</p>	<p>女満別空港広告看板掲出料の助成</p> <p>北見ぼんちまつり参加者への助成 ・令和元年7月19日(金)開催</p>
<p>3 その他</p>	<p>※KITげんき会会員銘板作成費用として 30万円の支出を見込んでいたが、見積の 結果、予算の範囲内に収まらなかった為、 作成を見送った。</p>

令和元年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

2 事業概要
(1) 研修先
勤益科技大学（台湾）
(2) 研修期間
令和元年9月10日～令和元年9月14日
(3) 助成対象・金額
3万円

3 助成対象者報告（※学年は研修参加時）

所属専攻・学年	電気電子工学専攻 2年
氏 名	塩田 祥子
報 告	<p>私は、中華圏の文化や言語について事前知識はなかったものの、以前より興味があったため参加を決めました。目的は二つで、他大学の実情と台湾市街を観察することを個人の目的としました。訪問先の勤益科技大学は本学と比較し、施設や学生数等、様々な面から見て大変規模が大きかったです。多数の先生方から厚遇を受け、複数の学科での講義内容や研究内容を紹介して頂きました。中でもマネジメント関係と電気工学関係の分野が印象に残りました。マネジメントは対象が多岐にわたり、それぞれの分野ではどのように研究を進めていくのか実際に見てみたかったです。電気工学はハードとソフトの両方を学生が手がけ実際に作り上げる講義をするらしく、興味を引かれました。市街は全体的に装飾性に優れていました。いかなる時代の建造物においても、手近に販売される商品についても、細かな意匠が施されているものが多く見られました。芸術性に富んだ土地で過ごす時間は新鮮でした。</p> <p>半年後には、大学院修了となりますが、今回充実した研修に参加でき、非常に良かったと思っています。今後、社会に出ても今回の経験を活かし、頑張りたいと思います。</p>

謝 辞	<p>5日という短い期間ではありましたが、取り巻く全てが目新しく、現地を見てよかったと思えるようなものばかりでした。非常に有意義な研修となり、後に控えた修士論文執筆への意欲が増しました。KIT げんき会様より受けた助成のおかげで、かけがえのない体験と、素晴らしい知見を得られました。心より御礼申し上げます。</p>
-----	---

所属専攻・学年	地球環境工学科 1年
氏 名	荻原 慧
報 告	<p>今回私は、第二外国語で中国語を履修しているので、実際の生活の場で中国語を使ったり、聞いたりして上達したかったので、本研修に参加しました。研修先では、初日、大学見学があり、色々な学部をみて回りました。本学に比べ、キャンパスの広さ、研究施設の充実さが際立っていました。産学連携を積極的に行っている大学だと認識させられました。</p> <p>大学見学以外では、文化研修として九族文化村へ行き、原住民の暮らしを実際にみて理解しました。住む地域により、異なった居住空間を持ち、また、カラフルな衣装に身にまとっていて、その鮮やかさを実感させられました。また、台北視察では故宮博物院で貴重な収蔵品をみてまわり、時代を超えた美しさをみることができました。夜は、観光で有名な九份や十份にも行きました。特に九份は、人でごった返していましたが、提灯に明かりが灯った時はとても幻想的できれいでした。</p> <p>短い期間ではありましたが、色々と学んだり体験できたりしてよかったです。目的であった中国語を上達することは、すぐには達成できませんでしたが、後期の授業ではこれまで以上に頑張り、きちんと習得したいと思います。</p>
謝 辞	<p>短い期間でしたが、色々学ぶことができました。このたびは KIT げんき会の皆様のおかげで快適な研修を過ごすことができました。これからの大学生活に今回の研修で得たことを生かしていこうと思います。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地地球環境工学科 2年
氏 名	宮田 美遥
報 告	<p>私が今回応募した理由は、大学在籍中に様々な経験をしたいと思ったからです。また、顔を知っている友達ではなく、学年が違う人たちと一緒にいくのは新しい輪を広げられることもあり、実際とてもいい経験になりました。そして私は去年、第二外国語に中国語を選択していたので、現地の人の話を聞いているといくつかの単語やフレーズが聞き取れ、やっていたよかったですと思いました。大学見学では機械系や電気電子系など様々な分野の最先端技術に触れることができ、他国の研究レベルをすることもできました。</p> <p>今回の研修で私は、自分でその国へ行き、経験をしなければ分からない面白さがあり経験値になることを知り、また外国へ行きたいと積極的に思える様になりました。この研修は初めて外国に行く人がとても安心して楽しむことができる研修だと思います。私も博物館などで歴史を知ることができたり、大学で行っている研究を見ることができたりと、5日間で個人旅行ではできない多くの貴重な経験をさせてもらいました。今後の大学生活に生かしていきたいと思います。</p>
謝 辞	<p>今回、KIT げんき会様の助成のおかげで、かけがえのない素晴らしい経験をすることができました。会員の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。台湾研修への助成、ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地球環境工学科 1年
氏名	片山 明彦
報告	<p>今回、私は日本文化との違いにふれ、その中で外国語を実際に話すことを目的として本研修に参加しました。</p> <p>初めての海外が台湾ということもあり、他国との比較はできないのですが、様々な社会の違いなどに気づくことができました。特に、交通面では、高速道路を通過する際、ETCゲートがないということです。台湾ではGPSを用いて料金を支払うシステムでした。日本でもこの技術を導入することで、低コストかつ交通トラブルの可能性を減らすことができるのではないかと考えられました。</p> <p>また、言葉の面では、全体を通して語学力が上がったとは思えませんが、「実際に話すこと」に挑戦することはでき、目標を達成することができたと思っています。私の拙い言葉を台湾の人は一生懸命に聞きとり、理解しようとしてくれました。このことが研修での一番の心に残ることでした。なぜなら言葉の壁をコミュニケーション、表情、仕草で飛び越える体験ができたからです。</p> <p>このように、本研修で学んだことは今後のものの見方や人とのコミュニケーションをとる上で非常に勉強になったと感じています。今後も国際交流活動に積極的に参加していきたいです。</p>
謝辞	<p>この度は語学研修プログラムの参加旅費を助成していただきありがとうございました。この経験は学業への意欲と経験したことのないものに対する好奇心となって今後活かしていきたいと思います。</p>

令和元年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名
短期交流研修（派遣）の助成（韓国）

2 事業概要
(1) 研修先
慶尚大学校（韓国 晋州市）
(2) 研修期間
令和元年9月2日～令和元年9月9日
(3) 助成対象・金額
5万円

3 助成対象者報告（※学年は研修参加時）

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 1年
氏名	國友 悠暉
報告	<p>私は今回の研修で多くのことを学ぶことができました。その中で最も痛感したことは、「その国の言葉で話しかけてくるからと言って、必ずしもその言語を完全に使いこなせるわけではない」ということです。私は軽い韓国語であれば使えるため、現地の店などではできる限り韓国語を使うようにしていました。</p> <p>ところが、相手は韓国語で話しかけてきたから韓国語が通じると安心し、ネイティブ相手に話すレベルのスピードや語彙で話してくるため、こちらの理解することができる限界を超え対応できなくなるということが複数回発生しました。私はこれはおそらく日本においても逆の立場で起こっていると確信しました。</p> <p>我々は留学生や旅行者が日本語で話しかけてきた際、「この人には日本語が通じる」と安心し、日本語のネイティブ同士で話すように応答してはいないでしょうか。その時、相手はこちらの言っていることを理解しているように見えても、実際には理解できずに困っているかもしれないのです。そのことに気づけたことが、今回の一番大きな成果でした。</p>

謝 辞	<p>この度はこのような貴重な体験をさせてくださり本当にありがとうございました。今回の経験を生かして、今後は外国人に対しても日本人に対しても、できる限りシンプルでわかりやすいコミュニケーションの取り方をできるように心がけます。本当にありがとうございました。</p>
-----	--

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏 名	阿部 優希
報 告	<p>私は今回の研修で初めて海外に行き、様々なことを学ぶことができました。研修の最中に2年前にこの研修で日本語の通訳をしたという方に出会い、自由時間にダンスサークルに連れていってもらい参加させてもらいました。2年前に私の先輩も同じように参加させてもらっていたことを話すととても喜んでくれて、2年後また後輩を連れてきてくださいと言われてもらいました。私は国を超えた人と人との繋がりを感じ、とても嬉しく感じました。</p> <p>また日本での英語の授業は文法や単語を覚える勉強が多かったので、たくさん英語を話すということは新鮮で私の概念を大きく変えました。今までは英語に対して学校で授業があるから勉強するという考えでしたが、今回の研修で自分の英語の力不足を感じ自発的に勉強したいと思うようになりました。</p> <p>初めての海外ということで不安なこともありましたが、韓国の方々は皆さんとても親切でとても楽しい研修になりました。今回学んだことを今後の勉強に生かしていきたいと思えます。</p>
謝 辞	<p>今回の研修は私にとって今まで経験することのなかったものばかりで、とても貴重なものになりました。皆様の支援のおかげで参加することを決意できました。今回の経験を今後に生かし、さらに人の繋がりを築いていけたらいいなと思えます。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏名	加藤 伶奈
報告	<p>私は今回の語学研修で多くのことを学びました。20年間今まで生きていて初めての海外でパスポートをとるだけでもわくわくしていました。実際韓国へ到着し、テレビでしか聞いたことがなかった韓国語を聞き、初日は何を話しているのか分からないので焦りましたが、毎日聞いていると自然と少しずつ分かるようになりました。韓国の方々は日本人よりとてもフレンドリーに話しかけてくださり、買い物をしているだけでも日本人の私たちにとても優しくして下さったのが印象に残っています。</p> <p>韓国の文化についても多くのことを教えていただきました。私たちは研修で、現代のチマチョゴリと昔のチマチョゴリを着せてもらいました。日本の和服の代表である着物よりもすぐ着やすくて、私も私服として着たいと思いました。チマチョゴリは季節を問わずに着ていると聞いて驚きました。着てみて思ったことは、夏は袖がスケスケで涼しく、冬は暖かくて確かに着れるなと思いました。</p> <p>食生活にも驚きました。韓国といえば辛い食べ物が有名ですが、実際に本当に辛かったです。私は辛い食べ物を好んで食べますが、本場の辛さには勝てませんでした。でも韓国で食べたものはすべておいしく、出される量も多くてとても満足したので、今度は食べ歩きをしてみたいです。とても楽しい研修でした。</p>
謝辞	<p>今回はこのような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございます。韓国だけでなくもっと他の国に行きたくさんの人と交流をしたいと思わせてくれた研修でした。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏名	高橋 俊輔
報告	<p>韓国に行って感じたことは、人々の温かさです。私達の訪問時、日韓関係が決して良いとは言えませんでした。しかし、慶尚大学の方々やゲストハウス職員の対応がとても温かく、日韓関係の問題を少しも感じませんでした。</p> <p>また、韓国語がわからない私たちに、身振り、手振りを使って伝えてくれました。そして、私たちの文化を尊重してくれました。自国の文化を強要するのではなく、わかりやすく、かつ楽しく韓国の文化を学ぶことができました。</p> <p>私が学んだことで一番印象に残っているのは、韓国語の授業です。韓国語を見た時、最初は検討もつきませんでした。少しだけ読めるようになり、より韓国の文化を身近に感じるようになりました。韓国で学んだ韓国語を、日本でも継続して自分で勉強し、ハングルをしっかりと読めるようになり、会話ができるくらいになりたいと思います。そしてまた韓国へ行き、今回の研修でお世話になった人々と会話ができるようになりたいです。</p> <p>このような経験を積んだことで、自国の国だけが良ければいいという自分よがりの考えではなく、他国の情勢などにももっと関心を持つようになりました。</p>
謝辞	<p>最後になりますが、KIT げんき会、会員みなさま、このような実りある研修させていただいたことに心から感謝いたします。またこのような機会がまたあれば是非参加させていただきたいです。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏 名	三浦 典万
報 告	<p>今回の韓国短期交流研修で、自分の中で今までにない経験をさせていただき、様々なことを学びました。この研修に参加するまで、私は海外に行ったことがなく、最初はとても不安でした。さらに、この研修の時期に日韓関係がよくないというニュースを日本でよく耳にしていました。しかし、現地の方々はとても親切で優しく、交流していくうちにその不安はなくなっていきました。メディアで流れている情報がすべてではないということ、身をもって感じることができました。</p> <p>また、慶尚大学校の方々に、韓国の文化、ハングル、工学などを教えていただきました。慶尚大学校の方々がとても丁寧に、様々なことを説明してくださったおかげで、韓国についての知識、工学の知識が身に付きました。</p> <p>今回の研修で様々な人に出会いました。ゲストハウスの方、通訳さん、大学生の方々など、とても仲良くさせていただき、短い間でしたが楽しい思い出ができました。その思い出は自分のなかで宝物となりました。やはり、人とのつながりは素晴らしいものだと感じました。</p>
謝 辞	<p>今回はこのような素晴らしい研修を用意していただき、誠にありがとうございました。この研修で韓国の文化などを学ぶことができました。また、韓国の方々とのとても楽しい思い出を作ることもできました。この経験を生かして、よい異文化交流をしていこうと思います。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏名	上野 巧人
報告	<p>今回の研修に参加した成果は、現在の日韓関係と実際の国民同士との温度差である。おそらく今回の研修に参加した学生の家族や友人が最も気にかけていることであろう日韓関係、そしてそれに伴う反日だが、我々が彼らから感じたのは、温情、礼節、おもてなしに尽きる。今回は日本語教育学科の学生と主に過ごしていたので、親しみやすく、安心できたが、生徒会の学生や、一緒にバスケットをした学生なども言葉は通じずとも媒体がなにかあれば意思は伝わり、笑いあえることができるとわかった。そしてやはり、英語の大切さというものを痛いほど感じた。日本語がわかる人も他の国に比べれば少なくはないが、やはりこちらが韓国語がわからない時点で共通言語の英語がやはり出てくる。なにも文法を完璧にする必要はないが、目の前にあるものを英語に訳せないという場面がいくつもあり、単語力というものの大切さに改めて気づいた。</p>
謝辞	<p>本研修に参加させていただき、自分の中の世界が確実に広がりました。そしてその自分の生の意見が次回以降の研修に何かの形で役立つと信じています。本助成を行なっていただいたKIT げんき会の皆様、本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 2年
氏名	泉谷 芽生
報告	<p>私は今回が初めての海外であり、この研修は何もかもが新鮮であり、本当に多くのことを知ることができました。最も不安だった事は言語ですが、知っている韓国語や英語であったり身振りであったり、本気で伝えようとするれば相手は汲み取ってくれることにありがたみを感じました。</p> <p>また年齢の近い、現地の学生と交流できたことが何より印象的でした。これは1人で旅行するだけでは味わえなかった貴重な経験だと思います。慶尚大学での講義や3Dプリンタ体験は非常におもしろく、ハングルや韓国文化についても多くを知ることができました。韓国のことは少し知っているつもりでしたが、ハンガルの成り立ちや礼儀作法については知らないことも多くあり、特にハンガルの母音と子音の組み合わせがとても論理的でおもしろく感じる事が出来ました。</p> <p>初めての海外研修が韓国で本当に良かったと思います。将来は海外で就職することも考えているので、良い経験となりました。</p>
謝辞	<p>今回の研修は、私にとって忘れられない経験となりました。海外で感じたことはどれも貴重で、これを活かして将来を考えようと思います。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	地球環境工学科 2年
氏 名	山本 彩未
報 告	<p>私が7泊8日の韓国研修で学んだことは、人との出会いの大切さです。今回の韓国研修の初日に私は3つの目標をきめました。それは、韓国語を覚える・韓国のことを知る・韓国人と交流することです。とくに韓国人と交流するということに力を入れました。また、これらの目標を達成するために、様々な活動を行いました。活動内容はおもに韓国語、韓国の歴史の勉強・韓国の観光・韓国の学生との交流でした。活動を通して人とかかわることが多く、関わった人すべてが素晴らしい人だと思いました。出会った人の尊敬できるところを真似して自分にも取り入れていくつもりです。また、韓国へ行く機会があれば今回交流した方と連絡を取ってあってみたいと思いました。</p> <p>韓国研修から帰国して、私は韓国だけでなく、他の国の学生とも交流を深めていきたいと強く思うようになりました。韓国語だけでなく、英語や中国語、さまざまな言語を学ぶことで活躍の場をひろげていきたいです。</p>
謝 辞	<p>7泊8日という研修を当初は長い期間だと思っていましたが、いざ韓国へ行って、研修を終えてみると、1日1日がとても楽しく、学びの多い毎日だったと思います。このような機会を与えてくださった KIT げんき会会員様にはただただ感謝の気持ちでいっぱいです。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 1年
氏名	井口 拓実
報告	<p>最近のニュースなどを観ていると韓国にあまり良いイメージがあまり無かったが、実際行ってみると、韓国の学生も日本のことに興味があるようで色々日本のことを聞いてくる、日本語を学んでいる人も多い、街に出ても「日本人だから」「韓国語が話せないから」で差別されることなく、こちらにわかりやすいように接してくれた。日本のニュースなどでやっていることはほんの一部で、実際とは大きな差があり、そこは自分の目で確かめないとわからないんだなと思った。韓国に行ってみて自分の目で見てみることの大切さを学んだ。このような機会を与えていただきありがとうございました。また、私は将来、海外で働きたいと思っており、大学生の内に様々な国に行き、日本ではできないことを経験したいと思っています。また機会があったら海外に行って自分の体験として持って帰ってきたいです。ありがとうございました。</p>
謝辞	<p>今回はこのような貴重な体験をする機会を与えてありがとうございました。今後も自分の将来のために様々なところに行ってみたいと思うので、またお世話になることがあるかもしれません。よろしくお願いします。今回はありがとうございました。</p>

所属選考・学年	地域未来デザイン工学科 1年
氏名	高田 椎
報告	<p>今回の韓国での研修は私にとって初めての海外研修で、とても貴重な機会となりました。現地で生活するなかで直に韓国の文化に触れることができ良い経験となりました。慶尚大学の講義でハングルや韓国の歴史文化を学んだり韓国料理を食べたり有名なスポットを訪れたり、どれも私にとって新鮮で、あっという間に日々が過ぎていきました。通訳の学生が同伴してくれていたので言葉の壁を感じることはあまりありませんでしたが、韓国語で覚えた自己紹介をして相手に伝わったことがわかったときは少し距離が縮まったような気がして嬉しく感じました。現地の案内をしてくれた方々やゲストハウスの方の優しさを感じたり何人かの慶尚大学の学生さんと仲良くなれたりして、国が違えど理解し合えることを身をもって体験できました。</p> <p>私はこの研修を通して多くのことを学びたくさんの思い出をつくることができました。今の国際化社会でこれから先この経験を生かしていきたいと思います。</p>
謝辞	<p>今回はこのような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。ここで学んだ多くのことをこれからの生活に生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。</p>

1 実施事業名

留学生派遣の助成

2 事業の概要

本学と地域との国際交流の推進を図るため、外国人留学生を地域の各種団体等へ派遣し、派遣先で行われている行事に参加させる。

3 参加者の様子

特別聴講学生向け講義「日本事情」において、北見市立小泉小学校に外国人留学生を2回派遣し、学校間国際交流を行いました。

第1回の交流は、11月18日（月）、第2回の交流は11月25日（月）に行いました。留学生を3～4名ずつの班編を行い、給食体験や昼休みに小学生と会話やゲームをしながら交流を行いました。また、各留学生から10～20分ずつの持ち時間で自国文化の紹介を行いました。小学生が理解できるように言葉遣いや発音に留意しながら発表を行い、熱心に聞く小学生を見て、留学生たちは大きな喜びと達成感を得ることができました。交流を始めて4年目となる今年から、恒例行事として6年生の授業に組み込んでもらえることになりました。今後も定期的な交流によって国際交流を推進していきたいと思えます。

また、7月19日（金）と8月23日（金）には小泉小学校の国際クラブとの交流会も行いました。自国のゲームや、調理実習を通じて、文化の交流を行いました。





4 謝辞

留学生派遣の実施にあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご支援により留学生に日本の給食体験や高校生活の体験など、貴重な経験をさせていただくことができました。また、数回に渡って学校関係者と交流ができたことで、留学生は小中高生や職員の皆様と顔見知りになり、お互いに理解し合おうとする雰囲気生まれ、素晴らしい国際交流の場をつくる事ができました。賛助いただいたKIT げんき会の皆様に、国際交流センター一同、心より感謝を申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

3 開催報告

2019年	4月24日開催	留学生歓迎会
2019年	5月28日開催	留学生のお国紹介 バングラデシュ人民共和国
2019年	6月27日開催	竹とんぼ
2019年	7月9日開催	流しそうめん
2019年	10月31日開催	新しい留学生を歓迎しましょう！
2019年	11月27日開催	アメリカ・オーストラリア語学研修体験談 台湾・韓国文化交流研修体験談
2020年	1月23日開催	餅つき

4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全7回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を行う。

3 参加者の様子

令和元年 12 月 11 日（水）、ホテルロイヤル KITAMI において、毎年恒例となっている留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催しました。

日ごろから本学の国際交流にご協力いただいている約 150 人の学内外からの方々にご参加いただき、交流を深めました。

はじめに鈴木学長からの挨拶があり、引き続き卒業生の代表として、中国人留学生の BAI MINGXUE（バイ ミンシュエ）さんから、留学生活での楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉などのスピーチがありました。「日本語を覚えるために学内の先生や友人の他、地域の皆さんが親切にしてくれたことが多くの励みになりました。また、自分の研究が世界中の多くの人の助けになりノーベル賞を目指しています。」などと会場の笑いをとっていました。



アトラクションでは、14カ国の留学生によるお国紹介がありました。うちわに国旗を貼り付けて母国について紹介する留学生の姿に、会場の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

その後、インタビュアーから会場の皆さんにもマイクが向けられ、参加者が一堂に会したひとときを過ごしました。



夕べに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。



4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、会場の借り上げを行い、食事を用意させていただきました。また、各関係者への案内状や、当日配付しました冊子と集合写真の作成にも役立てさせていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

就職支援助成（地元企業合同セミナー）

2 事業の概要

人材確保が課題となっているオホーツク地域の企業と、本学学生や地元専門学校生等の出逢いの場を提供し、人材を確保するとともに地域経済の活性化を目指す。

3 参加者の様子

○オホーツク地元企業と就職担当教員との意見交換会

令和2年1月16日（木） 本学17号館4階共用実験室4等

本学、北見商工会議所、北見市大卒者情報センター、KITげんき会との共催で、オホーツク地元企業と本学就職担当教員との意見交換会を開催し、就職担当教員12人、オホーツク管内企業から22社（22人）が参加しました。

山田副学長、鞘師特任教授から本学の就職支援に関する取り組みや地域への就職に関することについて説明の後4グループに分かれ、就職に関する学生のニーズやオホーツク地域での就職に対する課題等について意見交換が行われました。

オホーツク管内での就職に関して企業側からは「今後どのような企業アピールが必要かわかり、とても有意義だった」「インターンシップ制度の活用をぜひ検討したい」「インターンシップのさらなる強化や共同研究、個別説明会など、やれることは積極的にやっていこうと思う」と今後の大学との連携や学生への求人等に対する意欲が見られ、有意義な意見交換会となりました。



○オホーツク合同企業セミナー

令和2年2月19日（水） 本学第二体育館

本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そしてKITげんき会との共催で、オホーツク合同企業セミナーを開催しました。オホーツクの企業・団体が一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄るブース形式で実施し、北見市を含む近隣6市町から47社（団体）、2021年3月卒業・修了予定の本学学生や専門学校生ら約40名が参加しました。

参加した学生全員から、当セミナーが「参考になった」とのアンケートによる回答があり、「様々な企業で、他とは違ったお話が聞けて参考になった」「オホーツクの企業はなかなか情報を入手しづらいので、貴重な機会だった」といった声がありました。



4 謝辞

オホーツク地元企業と就職担当教員との意見交換会及びオホーツク合同企業セミナーを共催で開催していただき、心から感謝申し上げます。皆様からの御協力により、学生と地元企業との出逢いの場、また地元企業と教員との情報交換会の場を提供することができました。

これらの事業を推進することにより、本学とオホーツク管内企業との相互理解及び今後オホーツク地域への人材創出に繋げていければと思っておりますので、今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

令和元年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

1 実施事業名 学生表彰

2 事業の概要

地域貢献活動等に積極的に参加した本学に在学する学生及び本学学生が組織する団体を表彰することで、学生生活の充実と地域の一層の活性化を図ることを目的とする。

3 謝辞

学生表彰へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度は、北海道警察学生ボランティア活動に参加し、北海道警察職員と連携し、少年の非行防止や犯罪等の未然防止など幅広い活動を複数回行った学生3人、及び北見地区消防組合の学生消防団に入団し、消防職員と協力して、様々な消防活動及び訓練等に参加した学生2人をKITげんき賞受賞者として表彰いたします。

受賞者は以下のとおりです。

地域未来デザイン工学科	2年	伊藤 将光
地域未来デザイン工学科	3年	佐々木 桃花
地域未来デザイン工学科	3年	鈴木 かのん
令和元年度卒業生（電気電子工学科）		香坂 晃寿
令和元年度修了生（情報システム工学専攻）		板坂 紀幸

1 実施事業名
参考図書購入の助成

2 事業の概要
図書館に配架している参考図書で新版が出版されたものや、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し、購入した。

3 購入図書一覧
別紙のとおり

4 謝辞

この度は皆様からのご厚志により、学生向けの参考図書の充実を図ることができました。今回購入した事典等の図書を本学図書館に配架することで、本学の教育や学生の学習支援に役立たせることができます。この場をお借りして感謝を申し上げます。

北見工業大学では学生のみならず、地域住民の方にも快適に図書館をご利用いただけるよう努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和元年度購入 参考図書一覧

書 名	金額(税込)
真空科学ハンドブック	19,872
錯体化合物事典	28,814
安全工学便覧 (第4版)	37,757
水素エネルギーの事典	4,968
切削加工大全	3,577
粉体工学ハンドブック	24,840
P I Vハンドブック (第2版)	8,942
土木計画学ハンドブック	24,840
地図とデータで見る気象の世界ハンドブック	2,782
ニュースペックテキスト応用情報技術者	2,782
地球大百科事典 上 地球物理編	18,216
地球大百科事典 下 地質編	24,288
合 計	201,678

(1,678円については情報図書課予算より支出)

令和元年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

2 事業の概要

女満別空港2階 出発ロビーへの広告看板掲出

3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しています。

平成29年3月には学部改組に合わせてデザインを一新し、新しい学科のイメージとロゴマークが映える出来栄えとなっています。



4 謝辞

本事業に関し、平成17年度から15年の長きにわたり継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

北見市恒例の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に学生及び教職員による工大チームで参加し、本学をアピールするとともに地域の活性化に貢献しました。

3 参加者の様子



鈴木学長を団体長とする北見工大の隊列

4 謝辞

本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

これからも地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和元年度決算書

収入の部

項目	予算	決算	備考
会費	1,935,000	2,076,000	個人会員(33件) 156,000 円 法人会員(114件) 1,920,000
寄附金等	880,000	509,000	同窓会会員からの寄附(99件) 509,000
雑収入	500	2,793	預金利息
		(内訳) 17	
		2,776	残高証明書手数料発行手数料の振替
前年度からの繰越	2,536,993	2,536,993	
合計	5,352,493	5,124,786	



支出の部

項目	予算	決算	備考
後援会運営費	340,000	182,042	
通信費	(内訳) 160,000	(内訳) 113,470	印刷物郵送料、返信用葉書 ほか 113,470 ・総会開催通知送付料: 39,934円 ・会費納入依頼送付料: 53,208円 ・総会返信用葉書: 18,228円 ・役員会返信用切手: 2,100円
事務費	30,000	38,872	事務諸雑費 38,872 ・残高証明書発行手数料の合計: 2,776円 振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料の合計: 3,998円 ・会費納入に係る振込手数料の合計: 32,098円
印刷費	150,000	29,700	・KITげんき会ニュースレター印刷費: 29,700円 29,700
大学援助費	3,477,000	2,281,370	
学生に対する支援	(内訳) 2,681,000	(内訳) 1,487,570	語学研修プログラム参加旅費の助成 120,000 30,000円×4人=120,000円(台湾) …中国(研修先: 北京化工大学)での研修を予定していたが参加者が集まらなかったため、台湾(研修先: 勤益科技大学)へ研修先を変更。 (※新型コロナウイルスの影響により、ドイツ研修(研修先: アシャッフエンブルク応用科学大学)及び台湾研修(研修先: 中国医薬大学)は中止。) 短期交流研修(派遣)の助成 500,000 50,000円×10人=500,000円 留学生派遣の助成 5,300 (地域の各種団体等への留学生の派遣) インターナショナルCアワー開催の助成 91,630 留学生交流イベントの助成 240,000 就職支援助成(地元企業合同セミナー) 300,000 学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) 30,640 ※平成30年度受賞者分 参考図書購入の助成 200,000 (学生向け図書配架用) 大学広報等への支援 615,600 女満別空港広告看板掲出料の助成 615,600 北見ぼんちまつり参加への支援 178,200 北見ぼんちまつり参加者への助成 178,200
予備費	1,535,493	0	※KITげんき会会員銘板作成費用として30万円の支出を見込んでいたが、見積の結果、予算の範囲内に収まらなかった為、作成を見送った。
支出計		2,463,412	
次年度繰越金		2,661,374	
合計	5,352,493	5,124,786	

監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、令和元年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

令和2年7月21日

監 事 小澤 實之郎 
監 事 富田 剛夫 

北見工業大学後援会「KITげんき会」

令和2年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催（書面にて開催）
2 支援事業	
<p>1) 学生に対する支援</p> <p>2) 大学広報等への支援</p> <p>3) 北見ぼんちまつり参加への支援</p> <p>4) 北見工業大学修学支援基金への寄附</p>	<p>語学研修プログラム参加旅費の助成 【派遣先（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国×5人 ・台湾×5人 ・アメリカ×8人 <p>※新規の派遣先：アメリカ (新たにアメリカのUnion County Collegeと国際交流協定を締結したことから、ドイツから派遣先を変更) ※なお、派遣先は変更となる場合あり</p> <p>留学生派遣の助成 (地域の各種団体等への留学生の派遣)</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <p>留学生交流イベントの助成</p> <p>就職支援助成(オホーツク合同企業セミナー)</p> <p>学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰)</p> <p>参考図書購入の助成 (学生向け図書館配架用)</p> <p>女満別空港広告看板掲出料の助成</p> <p>※北見ぼんちまつりが中止のため事業の実施なし</p> <p>北見工業大学修学支援基金への寄附 (北見工業大学創立60周年記念事業)</p>
3 その他	KITげんき会会員銘板作成

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和2年度予算書(案)

収入の部

項 目	予 算	備 考
会 費	2,050,000 円	個人会員(50口 × 3,000円) 150,000 円 法人会員(190口 × 10,000円) 1,900,000
寄 附 金 等	500,000 円	同窓会会員からの寄附(500口 × 1,000円) 500,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	2,661,374 円	
合 計	5,211,874 円	

支出の部

項 目	予 算	備 考
後 援 会 運 営 費	786,100 円	円
通 信 費	(内訳) 117,100	印刷物郵送料、返信用葉書 ほか 117,100 ・総会及び役員会開催通知発送料: 40,000円 ・会費納入依頼発送料: 55,000円 ・総会返信用葉書: 20,000円 ・役員会返信用切手: 2,100円
事 務 費	39,000	事務諸雑費 39,000 ・残高証明書発行手数料: 3,000円
印 刷 費	130,000	振込手数料 130,000 ・各支援事業に係る振込手数料: 4,000円 ・会費納入に係る振込手数料: 32,000円 ・KITげんき会リーフレット印刷費: 100,000円 ・KITげんき会ニュースレター印刷費: 30,000円
KITげんき会会員 銘板作成費	500,000	・KITげんき会会員銘板作成費用(今年度限り) 500,000
大 学 援 助 費	3,127,000 円	
学 生 対 する 支 援	(内訳) 2,000,000	語学研修プログラム参加旅費の助成 1,040,000 【派遣先(案)】 30,000円 × 5人 = 150,000円(中国) 50,000円 × 5人 = 250,000円(台湾) 80,000円 × 8人 = 640,000円(アメリカ) ※新規の派遣先: アメリカ (新たにアメリカのUnion County Collegeと国際交流協定を締結したことから、ドイツから派遣先を変更) ※なお、派遣先は変更となる場合あり 留学生派遣の助成 50,000 (地域の各種団体等への留学生の派遣) インターナショナルCアワー開催の助成 120,000 留学生交流イベントの助成 240,000 就職支援助成(オホーツク合同企業セミナー) 300,000 学生表彰 50,000 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) 参考図書購入の助成 200,000 (学生向け図書館配架用) 大学広報等への支援 627,000 女満別空港広告看板掲出料の助成 627,000 北見ほんちまつり参加への支援 - ※北見ほんちまつりが中止のため事業の実施なし - 北見工業大学修学支援基金への寄附 500,000 (北見工業大学創立60周年記念事業) 500,000 ※北見工業大学創立50周年時の寄附額(50万円)を基に予算額を積算
予 備 費	1,298,774 円	
合 計	5,211,874 円	

北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
 - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。

令和元年度KITげんき会 法人会員名簿

(50音順 敬称略)

赤坂木材株式会社
株式会社あかつき
有限会社旭防電
網走信用金庫
網走地区保育協議会
天内工業株式会社
株式会社天内工務店
五十嵐建設株式会社
池田暖房工業株式会社美幌営業所
株式会社イズム・グリーン
イト電商事株式会社北見支店
稲村電設工事株式会社
NHK北見放送局
遠軽信用金庫北見支店
株式会社遠藤
大槻理化学株式会社
尾形電気株式会社
岡村建設株式会社
岡本建設株式会社
オホーツク技術士委員会
株式会社オホーツク大地
オホーツク農業共済組合
オホーツクビール株式会社
株式会社海田鋼材
鐘ヶ江建設株式会社
株式会社菅野組
北見商工会議所
北見医工連携研究会
一般社団法人社団法人北見医師会
北見観光開発株式会社北見ピアソンホテル
北見観光協会
北見管工事業協同組合
北見金融協会
北見建設業協会
北見工業団地会
北見市役所部課長会
北見信用金庫
北見石油販売株式会社

北見測量設計協会
北見地方生コンクリート協同組合
北見通運株式会社
北見鉄工協同組合
北見土木技術協会
北海道北見バス株式会社
株式会社北見ハッカ通商
北見舗装協会
金星北見ハイヤー株式会社
株式会社倉本鉄工所
桑原電工株式会社
桑原電装株式会社
小西工業株式会社
小林株式会社
株式会社小林印刷
有限会社小林寿司の小林
株式会社小柳中央堂
株式会社斉藤商店
株式会社坂口精肉店
佐藤電気株式会社
株式会社サン園芸
サン技術コンサルタント株式会社
株式会社JTB北海道北見支店
株式会社システムサプライ
株式会社ジャパントクニカルソフトウェア
一般財団法人消防試験研究センター
株式会社ダイイチ
大幸建設株式会社
有限会社タカハン寿司・割烹粋里
谷口電工株式会社
株式会社田巻美石園
株式会社つうけん道東事業部北見事業所
有限会社ティーエム商事
株式会社電建北見本社電設部
東邦コンサルタント株式会社
東宝ビル株式会社
株式会社時枝工業
株式会社ドボク管理

株式会社中神土木設計事務所
永田製鉛株式会社
株式会社中村商会
株式会社成中クリーニング
一般社団法人日本自動車販売協会連合会北見支部
株式会社長谷川建材
株式会社林鉄工
株式会社バル設計事務所
東北海道いすゞ自動車株式会社北見支店
光化成株式会社
有限会社フジサワ
株式会社舟山組
北辰土建株式会社
医療法人北星会大内医院
北成建設株式会社
株式会社北洋銀行北見中央支店
北洋建設株式会社
北海道NSソリューションズ株式会社
北海道ガス株式会社北見支店
北海道銀行北見支店
北海道獣医師会オホーツク支部
北海道新聞北見支社
北海道中小企業家同友会オホーツク支部
北海道糖業株式会社北見製糖所
一般社団法人北海道溶接協会北見支部
株式会社ホテル黒部
益村測量設計株式会社
株式会社松田建業
有限会社松原新聞販売店
株式会社マルモ
株式会社ミズノ硝子建材
水元建設株式会社
株式会社村井小泉建設工業
株式会社山腰測量設計事務所
株式会社山下金物店
株式会社山本工務店
株式会社吉崎工業所

※令和元年度に会費を納入いただいた法人様を掲載しております。(掲載を希望しない申し出があった法人様を除く。)